

ビスホスホネート系薬

●●●●● 骨粗しょう症治療剤 骨ページェット病治療剤 ●●●●●

リセドロン酸Na錠17.5mg「明治」 をお飲みになる方へ

監修:横浜医療センター 名誉院長 平原 史樹 先生

骨粗しょう症
治療用



PTPサイズ(縦×横):56.5×60.0mm

1週間に1回服用

骨ページェット病
治療用



PTPサイズ(縦×横):56.5×60.0mm

1日1回 8週間服用

● ご注意 ●

このお薬での治療中もしくは治療歴のある患者さんに、まれに**あごの骨の壊死**(顎骨壊死)^{がっこつえし}・**あごの骨の感染**(顎骨骨髓炎)^{がっこつこつずいえん}がおこることがあります。

この冊子をよく読んで、副作用の初期症状に気づいたら、医師、歯科医師、薬剤師に連絡してください。



顎骨壊死・顎骨骨髓炎 (ARONJ)[※]とは？

※ARONJ: Antiresorptive agents-related osteonecrosis/osteomyelitis of the jaws



顎骨壊死とは、あごの骨の組織や細胞が局所的に死滅し、骨が腐った状態になることです。顎骨骨髓炎は、むし歯や歯周病が進行し、口の中にもともと生息する細菌による感染があごの骨にまで及んだ状態です。この二つを合わせてARONJと言います。

ARONJの初期症状

- 歯ぐきやあごが腫れてきた、痛い
- 下くちびるがしびれた感じがする
- 歯ぐきに白色あるいは灰色の硬いものが出てきた
- 抜歯後の治りが良くない
- 歯がぐらついてきて、自然に抜けた



このような症状がみられた場合は、すみやかに
医師、歯科医師、薬剤師に相談してください。



どんなときに ARONJがおこるの？



これまで、顎骨の感染やさまざまな薬（このお薬を含むビスホスホネート系薬、ふくしんおしつ副腎皮質ステロイド薬など）、あご周辺への放射線治療により、ARONJがおきたことが報告されています。

このお薬を含むビスホスホネート系薬による治療時におこりますが、つぎのような治療を同時に行っているとおこりやすいといわれています。

- がんに対する化学療法
- 副腎皮質ステロイド薬の使用（全身投与）
- 抜歯などの外科的な歯科処置

口の中が不衛生な状態であると、ARONJを悪化させるおそれがあります。
定期的に歯科を受診し、歯ぐきの状態のチェックを受け、ブラッシング（口腔清掃）指導、歯石の除去処置、入れ歯の調整などを受けておくことが大切です。

また、飲酒や喫煙、肥満なども危険性を高めるとされています。





ARONJを 予防するには？

A

このお薬による治療を **はじめる前** に…

歯科医師による口腔内検査を受けましょう

このお薬による治療開始後に、抜歯などの歯科治療に関連してARONJがおきたことが報告されています。

歯科治療はできるだけ済ませておきましょう

- 治療による保存が不可能な歯を抜いておく
- インプラント埋入手術を済ませておく
- 義歯を装着している方は、口腔粘膜に外傷がないか診てもらい、適切な義歯調整をする

ブラッシング指導を
受けておくことが重要です



A

このお薬による 治療中の方 は…

治療をはじめる前と同じように、 口腔内検査を受けましょう

以下のような処置・検査を受け、口腔内を清潔にしておくことが重要です。

- 歯石の除去
- 口腔内の検査
(骨の露出がないか、歯ぐきに異常がないかなど)
- ブラッシング指導
(ブラッシングは適切にできているか確認)

口腔内が不衛生な状態では、ARONJがおりやすくなります。

口腔内の状態をチェックするため、
定期的に歯科医師による検診を
受けるとよいでしょう。
なお、その際には、このお薬による
治療を行っていることを、
歯科医師に伝えてください。



**ARONJは、一度発症すると完全に治癒するのが
困難となる事があるため、日ごろの予防が大切です。**

その他の注意

服用方法



- 起床時、食事の前に、1錠をコップ1杯(約180cc)の水道水かぬるま湯で飲んでください。
- 飲んでから30分間は横にならないでください。
- 飲んでから30分間は水以外の飲食、ほかのお薬の服用はさけてください。
- このお薬をかんだり、口の中で溶かしたりしないでください。
- 2回分を一度に飲まないでください。誤って多く飲んだ場合は、医師、薬剤師に相談してください。



つぎのような症状があらわれた場合は、**お薬の服用を中止して、ただちに受診**してください。

- 飲み込みにくい
- 飲み込むときに痛い
- 胸が痛い
- 胸やけ



つぎのような症状があらわれた場合は、**ただちに受診**してください。

- 太ももや太ももの付け根の痛み

歯の健康だけでなく、 生活習慣にも気をつけましょう

バランスのよい食事をこころがけましょう

カルシウム、ビタミンD、ビタミンKなどの骨を強くする栄養素を積極的にとりながら、果物や野菜、たんぱく質（肉、魚、卵、豆など）をバランスよくとることが大切です。特に骨の主要成分であるカルシウムは、今の食事に1日200mgプラスするよう意識してみましょう。

主な食品に含まれるカルシウム量

牛乳・乳製品	牛乳 1杯(200mL)	220mg
	ヨーグルトカップ 2個(200g)	240mg
	プロセスチーズ 2枚(36g)	230mg
	アイスクリームカップ 1個(100g)	140mg
大豆・大豆製品	木綿豆腐 1/2丁(150g)	130mg
	厚揚げ 1/2枚(100g)	240mg
	納豆 1パック(50g)	45mg
魚介類	あじ開き干し 1枚(78g)	44mg
	うなぎ蒲焼き 1人前(100g)	150mg
	魚肉ソーセージ 1本(90g)	90mg
	さくらえび 大さじ2(8g)	120mg
野菜	小松菜 1/2束(128g)	190mg
	しゅんぎく 1/2束(100g)	120mg
	チンゲンサイ 1株(85g)	100mg
	ほうれん草 1/2束(135g)	93mg



参考：日本食品標準成分表2015年版(七訂)、同追補2016年、同追補2017年

お薬の効果をさまたげるものに注意しましょう

● 過剰に摂取した場合、カルシウムの吸収を阻害します。

- アルコール ■ カフェイン（コーヒー、紅茶）
- リン（加工食品や一部の清涼飲料水に多く含まれます）
- 食塩

● 喫煙





医療機関名